長崎県事業引継ぎ支援センター

大切に育ててきた事業だからこそ「引継ぎ」という選択を

～事業承継・事業引継ぎに係る課題の解決に向けて支援～

地元で愛される店を残したい お客様への真心も 次代につなぐ「事業引継ぎ」

多くの経営者にとって、事業引継ぎは目を背けられない課題です。経営者の引退年齢も時代の変化とともに大きく上昇しており、背景には事業を次の世代に譲りたくてもなかなか引継ぎ手がいないという現実もあるようです。事業の引継ぎを考え始めた日から、経営者の胸には様々な思いが交錯するもの。今回は、長崎県事業引継ぎ支援センターが支援した中から、従業員への事業引継ぎを成功させた事例をご紹介します。

長崎市の中心街で55年 信頼される「街の理容店」

昭和39年創業。理容たていしは、通りに面したショーケースの「ミニチュアくんちゃ」でおなじみの理容店。立石侃さんは長崎市桜町の界隈で55年に渡り店を営んできました。ミニチュアくんちも立石さんの手作りです。「べっこう職人だった父の影響もあって、昔から手先を動かすのが好きでした。中学校の校庭で同級生をバリカンで散髪してあげたことも。その様子を見た先生が、親戚の理容店で働かないかと声をかけてくれたことが理容師になったきっかけです」。理容師の技術を磨いた立石さんは、父の出身地・長崎市桜町で理容たていしを開店しました。真心を込めた接客で長い間地元で愛されてきた店ですが、自身が高齢になるにつれ後継者問題に不安を抱えていたそうです。「親族に後継者はおらず、当初は廃業も視野にありました。この店を辞めないで欲しいとのお客様の声が多く何年も悩んでいました」と立石さんは語ります。

左から前代表の理容たていし・立石侃さん、新代表のCut House Resto・野口照彦さん

店の方針を理解した従業員に譲ることに

店には3人の従業員がいます。ベテラン2人は高齢ということもあり、従業員の中で1番の若手ではありましたが、20年以上勤務してくれている野口照彦さんに目星をつけました。年上の従業員2人と協力して店を切り盛りできる優しい人柄の野口さんの性格や普段の真面目な働きぶりを見て引継いでもらおうと決めたそうです。野口さんは長崎市出身。大阪で理容専門学校に通い9年ぼど脱サラ後、理容たていしへ入社しました。「立石先生から店を引き継いでもらいたいと言われ即答しました。理容たていしではお客様カルテを作成し、1人1人のカットの好みを記録しています。その様な丁寧な仕事ぶり、お客様のことを第一に考える立石先生の姿勢を尊敬していました。独立志向がなかったわけではないですが、一からの設備投資、長年来店いただいているお客様のことを考えて、理容たていしを引き継ぐ決心をしました。家族は少し驚きましたが理解して応援してくれました」

長崎県事業引継ぎ支援センターに相談 1つずつ課題をクリア

立石さんが長崎商工会議所の会員だったこともあり相談したところ、長崎県事業引継ぎ支援センターを紹介されます。事業引継ぎではまず資金面での問題が。そこで外部の専門家を紹介してもらい企業価値を算定。アドバイスを受けながら野口さんが事業計画書を作成し公的金融機関からの融資を受けることができました。次の課題は従業員の雇用です。新しい店になっても継続して働いてもらえるかどうか、新しい経営者の野口さんと共に店を盛り上げていってくれるかなど。立石さん、野口さん、従業員と一緒に話し合いを重ねたそうです。従業員も納得し、長年のお客様が付いている技術の高いベテランスタッフをそのまま継続雇用することができました。「事業引継ぎに関する複雑な手続きの相談にのってくれた長崎県事業引継ぎ支援センターがなければこのようにスムーズな引継ぎはできなかったかも知れません。アドバイスをしてもらって本当に助かりました」と立石さん。

理容たていしのモットー「安心・快感」を新店舗でも

カット4200円（カット後の顔そりサービスあり）、帰人積そり3300円、その他マッサージコース（10分・1100円）しも好評。スタッフも募集中です

高い技術と真心で「憩いの場」を目指す

理容たていしはCut House Restoとして2019年7月1日に生まれ変わりました。「店名にはポルトガル語で「憩い」を意味する「Resto」を使いました。低価格店が増える業界の中で、今まで立石先生が守ってきた高い技術に裏打ちされたモットー「安心・快感・お客様に笑顔を」を新店舗へつないでいきたいです。新型コロナウイルス感染に伴う影響もありますが、これからも消毒や清掃など、今まで以上にあたりまえのことをキチンとやり、お客様にとっての憩いの場になれれば嬉しいと野口さんは語ります。

Cut House Resto（カットハウスレスト）
住所　長崎市築町1－7
電話　095・821・9000（予約優先）
営業　9時～18時半
休　月曜、第3日曜月曜連休

長崎県事業引継ぎ支援センター
統括責任者　小林　猶敏氏

長崎県事業引継ぎ支援センターは、平成27年6月開設以来、累計で533社の事業引継ぎに関する相談を受けています。そのうち後継者不在等による譲渡相談は約半数です。相談企業の中で、これまで91件の企業がマッチング（成約）し、事業の引継ぎが行われました。

最近は、親族内で後継者を確保することが困難になってきており、業況に問題がないにも関わらず後継者不在で廃業する企業も増えています。廃業は、雇用が失われることになり地域経済に深刻な打撃をうけます。長崎県事業引継ぎ支援センターでは、これまで大切に育ててきた会社や事業をやめることなく、スムーズに第三者（役員・従業員への承継含む）に引継ぐための課題解決への助言や情報提供などの支援を行っています。

今回の事業引継ぎの成功のポイント

今回の事例は従業員への承継です。親族内に後継者がおらず、長年同店に勤務していた従業員に事業を引継ぎました。成功した要因は三つ。一つ目は資金を公的金融機関から調達できたこと。認定支援機関である長崎商工会議所・外部専門家（税理士）センターの連携で、事業計画書等の作成支援を行い、譲受者（野口氏）も安心して資金の借り入れができました。二つ目は前代表の立石氏と野口氏を含めた従業員が話し合い、これまで通り従業員の継続勤務が可能となったことです。三つ目は立石氏が数カ月間パートとして同店に勤務し、顧客減少のリスクに備えたことです。これまで築き上げた事業が無くなってしまうのではなく、自らの手を離れて立派に独り立ちしました。

何から始めていいのかわからない、日々の経営で手一杯、誰に相談してよいのかわからないなど、後継者不在でお悩みの経営者の方々は多いと思います。スムーズに事業を足継ぐには、早めの準備・計画的な取り組みが重要です。まずはお気軽にご相談ください。

事業引継ぎの流れ

- STEP.01 高齢のため引退を考える
- STEP.02 親族に後継者が不在
- STEP.03 従業員の野口氏に経営引継ぎを打診、了承をもらう
- STEP.04 長崎県事業引継ぎ支援センターに相談
- STEP.05 資金調達、従業員の雇用など課題を洗い出す
- STEP.06 外部専門家も入れて事業計画書等を作成
- STEP.07 資金調達を終えて事業引継ぎ完了
- STEP.08 お客様への想いが引継がれた店をスタート

経済産業省　委託事業

長崎県事業引継ぎ支援センターのご案内

後継者がいないとお悩みの方、「第三者への引継ぎ」という選択肢があります

「事業の引継ぎに不安がある」

「事業をたたみたいが、従業員の雇用は守りたい」

今後10年間で、中小企業の約半数が世代交代の時期に。事業引継ぎ問題は他人ごとではありません。

中小企業の事業承継やM&A（事業引継ぎ）を、公的な支援機関である長崎県事業引継ぎ支援センターがサポート。センター常駐の専門家や税理士等の外部専門家が、問題解決に向け対応します。後継者がいる場合もいない場合も、安心してご相談ください。

ご相談の流れ

まずはお電話 ▶▶ 窓口相談 ▶▶ 事業承継支援

こんな場合に当センターをご活用ください

- 事業の譲渡を考えているが、どのように進めればよいか？
- 従業員への承継を決めたけど、いくらで、どのような方法で引継げばいいだろうか？
- 会社役員に有望な人材はいるが、個人保証が障害になる。どうしたらいい？
- 他の企業を譲り受けたいが、どのように進めていけばよいか？

国が運営する事業だから安心　専門スタッフが秘密厳守で相談対応　ご相談はすべて無料

登録者募集!!

創業をお考えの皆様へ

長崎県後継者人材バンク

創業者・事業主の「後継者」として経営を実現しませんか？

中小企業者の経営資源を継承！

既存の取引先、店舗、経営ノウハウ、知名度などを引き継いで、事業を開始することが可能となります。

創業時の開業コストを抑制！

既存の営業拠点などを活用することで、ゼロからの創業に比べ、少ない開業コストで創業できる可能性があります。

「長崎県後継者人材バンク」は、長崎商工会議所に設置された「長崎県事業引継ぎ支援センター」が運営する事業です。創業を目指している人や自分の技術・資格を活かしたい人と、後継者を探している企業・個人事業主を引き合わせ、事業引継ぎの実現に向けた支援を行います。

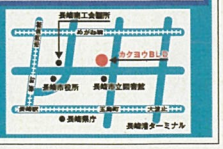
スームーズに事業を引継ぐには、早めの準備と計画的な取り組みが重要です。まずは、お気軽にご相談ください。

長崎商工会議所（中小企業の事業承継・事業引継ぎを支援する公的機関）

長崎県事業引継ぎ支援センター

〒850-0032
長崎市興善町4-5　カクヨウビル3F

事前予約制

TEL：095-895-7080　FAX：095-895-7081
受付時間：毎週月～金曜　9:00～17:00（年末年始、祝日除く）

E-mail：nhikitsugi@clock.ocn.ne.jp
URL：http://n-hikitsugi.com